

会報編集部からのお知らせ

1. 会報投稿記事 2010 / 2011 アワード開催
2. 会報記事への直接投稿（コメント）の方法
3. 投稿記事募集

□■ 1. 会報投稿記事 2010 / 2011 アワード開催

会報を電子化を機会に、ショートエッセイ、「めだか」を連載始めました。

また、投稿された原稿には、それぞれの工夫が施されたものも多く、できるだけ原稿のイメージをお伝えするため電子ファイルで投稿された原稿をそのまま採用させていただきよう、標準フォームを設定しました。

これにより、誤字脱字のチェックなど最小の編集で、記事を発行するようにして、従来の隔月サイクルから月次発行サイクルに変更してお届けするようにしました。

会報の全体記事は、20-40ページにもなるため、個別の記事ごとにも閲覧できるようにしました。

さらに、会報記事の投稿者に図書カードを配布しておりましたが、次のように年間アワードの方式に変更します。これにより、投稿記事や投稿者個人の学習、知識、経験を広く認知していただくことができます。

つきましては、次の通り、会員の投票形式により、受賞記事を選んでいただく方式を採用します。年間アワードの実施に伴い、従来の図書カード配布方式は、なくなります。

■対象投稿記事

- 1) 2010 年会報アワード : 2010/1-12 までの会報に掲載された記事を選定の対象とします(初回のみ)
- 2) 2011 年会報アワード : 2011/1-12 までの会報に掲載された記事を選定の対象とします(毎年)
- 3) アワードの種類:

SAAJ めだか賞

論文賞、

奨励賞 など、3点を選定し、記念品を贈呈する予定。

■選定方法 :

投票期間の開始までに、対象記事タイトルを一覧できる投票用の URL を案内します。

投票には、SAAJ の会員が1票を投票できます。会員は、候補記事の中から、受賞にふさわしいと思う記事を選んで、期日内に投票いただきます。期間内に投票された投票を単純集計し、得票数の多い記事をアワードの対象とします。

■投票期間:

12/16 より 12/31 の 23:59 まで(当月の記事を配信、読んで頂いた後で投票してください)

会報記事への直接投稿（コメント）の方法、お知らせ**□■ 2. 会報の記事に直接コメントを投稿できます**

会報の記事は、

- 1) PDF ファイルの全体を、URL (<http://www.skansanin.com/saaj/>) へアクセスして、画面で見る
- 2) PDF ファイルを印刷して、職場の会議室で、また、かばんにに入れて電車のなかで見る
- 3) 会報 URL (<http://www.skansanin.com/saaj/>) の個別記事を、画面で見る

など、環境により、様々な利用方法をされていらっしゃるようです。
もっと突っ込んだ、便利な利用法はご存知でしょうか。

気に入った記事があったら、直接、その場所にコメントを記入できます。著者、投稿者と意見交換できます。
コメント記入、投稿は、気になった記事の下部コメント欄に直接入力し、投稿ボタンをクリックするだけです。
動画でも紹介しますので、参考にしてください。

(<http://www.skansanin.com/saaj/> の記事、「コメントを投稿される方へ」)

□■ 3. S A A J 会報編集担当より お知らせ

会員の皆様からの、投稿を募集しております。分類は次の通りです。

1. めだか (Word の投稿用テンプレートを利用してください。会報サイトからダウンロードできます)
2. 会員投稿 (Word の投稿用テンプレートを利用してください)
3. 会報投稿論文 (論文投稿規程があります)

これらは、いつでも募集しております。気楽に投稿ください。

特に新しく会員となられた方(個人、法人)は、システム監査への想いやこれまで活動されてきた内容で、システム監査にとどまらず、IT 化社会の健全な発展を応援できるような内容であれば歓迎いたします。

次の投稿用アドレスに、テキスト文章を直接送信、または Word ファイルで添付していただくだけです。

投稿用アドレス:saaj-kaihoh ☆ yahoogroups.jp (☆は投稿時には@に変換してください)

会報編集部では、電子書籍、電子出版、ネット集客、ネット販売など、電子化を背景にしたビジネス形態とシステム監査手法について研修会、ワークショップを計画しています。研修の詳細は後日案内します。

会員限定記事

【本部・理事会議事録】（会員サイトから閲覧ください。パスワードが必要です）

■編集後記に代えて、雑感

現在、会報発行は編集委員の持ち回りで記事集め、編集を行っています。前は藤野さん、今回は、仲さんのご担当でした。電子化してこれまで、編集後記を記載していませんでしたが、個性の違いが見えますでしょうか。

さて「会報編集部では、電子書籍、電子出版、ネット集客、ネット販売など、電子化を背景にしたビジネス形態とシステム監査手法について研修会、ワークショップを計画しています。研修の詳細は後日案内します」といいながら、まだか、いつ開催するのか、という問い合わせを受けます。保守的な監査人にも、新しい技術への関心は不可欠ですね。

まだ日程は決めておりませんが、まずは、年間アワードの仕組みをスタートさせてから開催しようと予定しています。

そのときモデルとする仕組みが、次の「電子化を背景にしたビジネス形態」の事例です。

動画と画像を組み合わせた情報発信の仕組み、情報提供モデルです。印象はどう変わりますか。

埼玉の文化 <http://saitamabunka.com/>

埼玉新都心の情報発信 <http://shintoshin.biz/>

これらのスタイルは今年の早い時期に紹介を予定していました。現在スマホ版を準備中です。これらの仕組みに興味のある方、舞台裏を解説する予定です。運用にはツール等のライセンス費用が必要です。

新しい商品、サービスや技術が紹介されるので、スピードって大切だなと実感します。（竹下）

=====
■発行： NPO 法人 日本システム監査人協会 会報編集部

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-8-8 共同ビル6F

■ご質問は、下記のお問い合わせフォームよりお願いします。

【お問い合わせ】 <http://www.saa-j.or.jp/toiawase/>

■送付停止は、購読申請・解除フォームに申し込んでください。

【送付停止】 <http://www.skansanin.com/saa-j/>

Copyright (C) 2011、NPO 法人 日本システム監査人協会

掲載記事の転載は自由ですが、内容は改変せず、出典を明記していただくようお願いします。

■□■SAAJ 会報担当

編集： 竹下和孝、仲 厚吉、安部晃生、成 楽秀、桜井由美子、清水恵子、山田 隆、片岡 学、
木村陽一、藤野明夫 投稿用アドレス：saa-j-kaihoh☆yahoogroups.jp（☆は安全対策）